

令和8年10月14日

福島大学構内にスマート古紙回収箱をテスト設置し 関連イベントを行います

福島県および福島市の調査で、可燃ごみにリサイクル可能な紙類が多く混入していることが確認されています。一方、福島大学構内では、学生が日常的に利用する動線上に古紙回収箱がほぼ設置されていません。

本プロジェクトの目的は、このような紙ごみの現状に一石を投じること、古紙の視点から福島大学の教育・研究・社会実装につなげることです。その際、最近注目を集めているスマートごみ箱の視点を取り入れることで、より精緻なデータを収集し、今後の古紙回収のあり方を具体的に探ることを考えています。

このたび、2026年11月5日(木)午後12時20分から福島大学附属図書館1階のアリアコモンズ1において、スマート古紙回収箱のテスト設置開始のセレモニーを開催します。また、同日午前11時50分から2026年11月30日(月)午後3時まで、本プロジェクト関連の展示を福島大学附属図書館1階ロビーにおいて行います。皆さんのお越しをお待ちしています。

◎ プロジェクトの概要

本プロジェクトのメンバーは、経済経営学類 沼田研究室、共生システム理工学類 ザビル研究室に加え、(株)こんの様、(株)アイクリーン様から成ります。

これまで、主に、沼田研究室で、スマート古紙回収箱の福島大学内でのテスト設置場所、仕様、進行、全体調整などを、関係者と調整の上、具体化してきました。一方、主にザビル研究室で、スマート古紙回収箱の製作を進めてきました。

準備を進めているスマート古紙回収箱は、雑誌(プリントを含む)、雑がみ(菓子箱を含む)の二連型で、IoT技術を活用して、回収箱の中の状況を遠隔監視します。設置予定場所は、福島大学の附属図書館入口付近と、大学会館入口付近の2か所であり、令和9年2月までテスト設置の予定です。なお、大学会館入口付近には、機密書類の回収箱もテスト設置します。

また、スマート古紙回収箱設置前後に、福島大学構内の複数の可燃ごみ箱内の古紙の混入状況調査、スマート古紙回収箱について学生などへのアンケート調査、回収した古紙の行き先・ブランド化の可能性の検討なども行います。

なお、本プロジェクトは、令和8年度 福島大学地域未来デザインセンタープロジェクト「スマート古紙回収箱のテスト設置による教育・研究・社会実装」、令和8年度 福島大学経済経営学類 プロジェクト経費(個別申請型)「スマート古紙回収箱のテスト設置による教育・社会実装」の補助のもと実施しています。

◎ スマート古紙回収箱のテスト設置セレモニーについて

- 日時： 2026 年 11 月 5 日(木)午後 12 時 20 分から 20 分程度
- 会場： 福島大学附属図書館 1 階のアリアコモンズ 1
- 内容：
 - ✓ 佐野孝治 福島大学長 挨拶
 - ✓ プロジェクト関係者挨拶
 - ✓ 本プロジェクトの趣旨説明
 - ✓ スマート古紙回収箱の運用開始
- 対象者： 学内外どなたでも
- 定員： 特に設けていません
- 参加申込方法： 当日、会場にお越しください

◎ スマート古紙回収箱のテスト設置関連展示について

- 日時： 2026 年 11 月 5 日(木)午前 11 時 50 分から
2026 年 11 月 30 日(月)午後 3 時まで
- 会場： 福島大学附属図書館 1 階ロビー
- 内容：
 - ✓ 本プロジェクトの説明
 - ✓ 本プロジェクトに係る関係者の取組紹介
 - ✓ 本プロジェクトの前段となる取組の紹介（徳島県上勝町視察など）
- 対象者： 学内外どなたでも
- 参加申込方法： 予約不要です。会場にお越しになり、ご自由にご覧ください

(お問い合わせ先)

【プロジェクト全体統括】

経済経営学類・教授 沼田 大輔

電 話：024-548-8423

メール：numata@econ.fukushima-u.ac.jp

【IoT 関連統括】

共生システム理工学類・教授 ザビル サラウッディン ムハマド サリム

電 話：024-548-8188

メール：szabir@sss.fukushima-u.ac.jp